

### 3. 計画準備



#### 3.1. 池干しするため池の優先順位

池干しの候補池が複数ある場合には、優先順位を決めます。連続したため池では**上流側から**(下流を駆除しても上流から供給されるため)行うようにします。また、池干しになれていない場合、小さな池から始めます。



#### 3.2. ため池所有者・管理者への説明と協議（実施への理解と同意）

池干し駆除を実施する際には、ため池の所有者と管理者を確認することが必要です。市町村に問い合わせて確認します。所有者と管理者へ駆除の必要性や作業内容について説明し、理解や同意を得て、協力してもらいます。

#### 3.3. 日程の調整（農作業との関係）

池干し駆除を行うにあたっては、池の水を抜く必要があるため、農業用ため池の場合は池干しの時期は通常**水田への用水が終わった時期以降**となります(かんがい期以降)。

オオクチバス等の駆除という面から考えると、気温が高く日射量強い夏季に行った方が効果的なことや、大きなため池では水が貯まるのに時間がかかるという面からも、**かんがい期終了後、早い時期に行うことが望ましい**です。

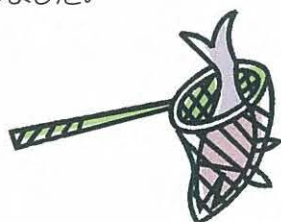
また、ため池は防火用水として使用されている場合があるため、水抜きが出来ない時期があります。したがって、池干し駆除の日程を決めるにあたっては、所有者や管理者との調整が必要になります。さらに大きなため池では、完全に水を抜くのに2週間程度かかりますので水を抜く期間も考慮して池干し日程を決めます。



#### 3.4. 魚類等捕獲のための許可（特別採捕許可）

池干しをする場合は、各都道府県の**漁業調整規則**に基づく**特別採捕許可**が必要になることがありますので、事前に各都道府県の水産担当課に相談・確認して下さい。

一般的には図に示した項目を記載した書類を作成し、各都道府県の水産担当課へ申請します。なお、申請書の記入例を巻末資料P.36～37に添付しました。



##### 特別採捕許可申請の記載項目（例）

- 申請団体(機関)名
- 目的
- 適用除外の許可を必要とする事項
- 使用船舶
- 採捕しようとする水産動植物の名称及び数量
- 採捕の期間
- 採捕の区域
- 使用漁具及び漁法
- 採捕に従事する者の住所及び氏名

### 3.5. 在来魚・希少種の保護と一時避難

池干し駆除を行うため池に在来魚や希少種が生息する場合には、水抜きを行う前に捕獲して水槽や別のため池などに一時避難させます。

なお、保護すべき在来魚や希少種のほとんどは小型で、水抜きの際には泥にまぎれて捕獲が困難だったり、弱ったりするため、捕獲漁具や運搬容器には在来魚・希少種に損傷を与えないような配慮が必要です。

また、保護のためには捕獲道具や運搬容器の他、移送場所の確保が必要です。



### 3.6. 駆除道具の準備

池干し駆除は、大きくは事前の排水作業と排水時の捕獲作業に分かれますが、駆除に必要な主な道具等は以下のとおりです。



#### 【池干し駆除に必要な主な道具】



道具等	用途	
装備品	胴長靴	泥地では塩ビ底が滑りにくい(フェルト底は滑る)
	カップ	泥で汚れるので上着を着た方がよい
	ゴム手袋	腕カバー付がよい(汚れ防止)
排水・止水	エンジンポンプ	底樋から完全排水できない場合に使用
	水中ポンプ	同上。発電機が必要
	発電機	水中ポンプの稼働用
	土嚢袋	流入水などの止水用
捕獲道具	タモ網	網目の大きいものと小さいものを用意する
	サデ網	タモ網よりも口径が大きい
	地曳網	用意できない場合はタモ網等でも捕獲は可能
収容運搬	コンテナカゴ	捕獲魚の収容・運搬
	バット	水を入れて在来魚の移送など
	田舟(たぶね)	水面に浮かべて魚や物を運ぶのに便利
その他	ゴムボート	大きなため池や地曳網を使う際にはあれば有用
	ライフジャケット	ゴムボートに乗る際には安全のため着用
	計測用具	スケール(魚体測定板)、計り、カメラ(記録用)、筆記用具
	ポリタンク(水)	手洗い・機材洗い用
	バケツ	水汲みや魚の運搬など
	スコップ	泥のかき出しなど
	工具類	ドライバ、スパナ、ペンチ等(ホソソコ類のセットなどに使用)
	飲料水	熱中症対策
	着替え	濡れたり、泥で汚れたりするので
	イベント保険	障害保険などへの加入
	その他	タオル、双眼鏡(監視用)、簡易トイレ、拡声器、救急箱、ロープ類、腕章、ゴミ袋、灰皿、ティッシュなど

### 3.7. その他準備

池干し駆除は、地域でイベント的に行われたり、児童の環境教育的な意味合いも併せて行われることもあるので、安全・衛生面も考慮し、周辺の草刈り、排水路の掃除、駐車スペースの確保、ゴミ袋の用意、簡易トイレの設置やイベント保険加入なども必要に応じて行っていきます。

また、オオクチバス等が生息するため池では、ルアーや釣り針なども落ちているので、事前に回収しておくことも必要です。





【池干し駆除に必要な主な道具】